

平成30年7月11日

貧酸素水塊速報 (2018年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 ○ 神奈川県水産技術センター ○ 内湾底びき網研究会連合会

【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 ○ (国)国立環境研究所
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

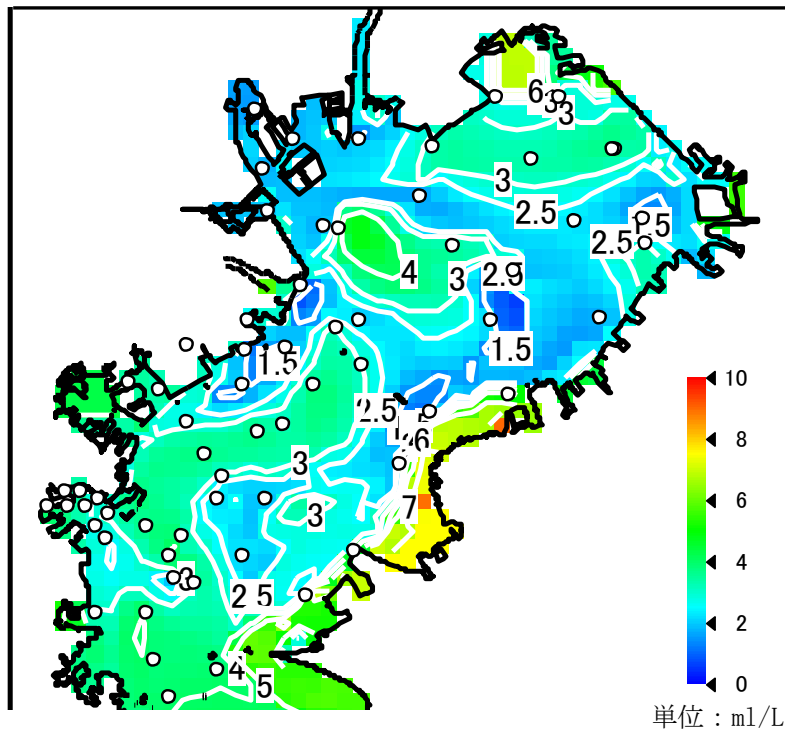
平成30年7月10日観測結果

内湾底びき網研究会連合会による調査結果です。調査に参加された方はお疲れ様でした。

貧酸素水塊は内湾に点在していますが、強く貧酸素化している海域はみられません。

中の瀬西から川崎人工島北にかけての底層に、水温が低く、塩分の高い沖合水が流入している模様です。このため、DO分布が複雑になっています。

水温は表層25～27℃、底層16～26℃と底層の水温変化が大きくなっています。



底層の溶存酸素量分布

酸素飽和度と溶存酸素量(DO)の目安		
酸素飽和度	溶存酸素量	備考
50%	2.5mL/L	貧酸素水塊
30～40%	2.0mL/L	魚類に影響
	1.5mL/L	貝類危険
	1.0mL/L	